

事務事業評価（平成27年度に実施した事務事業）

共通番号	部	所属名	款	項	目	実施計画事業★	事務事業名	事業の目的	H27 事業概要	H27 事業実績	H27決算 見込額	活動指標名 (業務量の指標)	単位	H27 目標	H27 実績	H28 目標	事業の進捗	必要性	有効性	効率性	優先性	総合判定	判定理由	事業の方向性
378	都市整備部	土木管理課	08	01	01		庶務及び管理費	道路・河川の適正な管理を行うための庶務及び管理事務の実施	①官民境界管理事務 道路・河川の官民境界の管理、未登記物件の解消を行う。 ②道路台帳等管理事務 道路の管理を円滑に行うため、台帳の修正を行う。	官民境界立会い 174件 未登記物件の解消 5件 道路台帳修正 地形図編集 3.62km 台帳調書作成 3.94km 1/1000出力図 172枚	11,435	経年変化分の修正	%	100	100	100	A	A	B	B	A	A	法令で定められた業務であるため、今後も継続して実施する。また、システムの充実に従って今後の事務の効率化に努める。	継続
380	都市整備部	土木管理課	08	02	02		道路愛護事業	安全で快適な道路環境を保持するため、道路美化運動を推進する。	道路美化運動を推進する事業で、主なものは道路の草刈作業。	39自治会 延70回 20,472人参加 草刈作業等(作業延長22,110m、作業面積71,875㎡)	9,330	参加人数	人	21000	20472	21000	A	A	B	B	B	B	今後もより一層の参加者の拡大につとめ継続して実施する。	継続
381	都市整備部	土木管理課	08	02	02		道路施設樹木維持管理事業	快適な生活環境の保全を図る。	街路樹の維持管理。	高木 1,998本 中木 265本 低木(寄植) 19,708m2 除草 19,708m2	27,144	予定箇所に対する実施率	%	100	100	100	A	A	A	B	A	A	快適な生活環境の保全を図るため、継続して実施する。	継続
382	都市整備部	土木管理課	08	02	02	★	道路維持補修事業	道路交通の安全性及び利便性を確保する。	市道の安全性及び利便性を確保するための維持管理。	境界立会い、測量。 修繕工事。(道路・道路反射鏡)	129,260	修繕工事等の実施件数	件	75	62	75	A	A	A	B	A	A	道路交通の安全性及び、利便性を確保するため、継続して実施する。	継続
383	都市整備部	土木管理課	08	02	02		地元要望道路改良事業	生活道路の安全性及び、利便性を確保する。	地元自治会からの要望に基づいた生活道路の維持管理。	境界立会い、測量。 修繕工事。(道路・道路反射鏡) 対象要望数 361件 対応件数 249件	50,967	地元要望の対応率	%	60	69	60	B	A	A	B	A	A	生活道路の安全性及び、利便性を確保するため、継続して実施する。	継続
384	都市整備部	土木管理課	08	02	02		舗装補修事業	安全性及び走行性等、良好な道路環境を確保する。	道路舗装の維持管理。	舗装補修工事。	36,245	修繕工事等の実施件数	件	8	5	2	B	A	A	B	A	A	安全性及び走行性等、良好な道路環境を確保するため、継続して実施する。	継続
385	都市整備部	土木建設課	08	02	03	★	大森新道線道路改良事業	通行に危険を伴う線形の改良と歩道を整備することにより、利用者の安全と利便性の向上を図る。	自動車及び歩行者の増加に伴い、歩道の設置と交差点の改良事業を行う。	工事 L=217m(H28へ繰越)	557	計画に対する整備率	%	100	70	100	D	A	A	A	A	A	通勤通学等の利用者の安全を確保するための事業であり、総合的に判断しても適切なものである。事業進捗は地元自治会の要望により関係地権者と再交渉を重ねたが合意に至らず、工事発注準備に遅れが生じ、年度内完成ができなくなったものでありやむを得ないものである。	継続
387	都市整備部	土木建設課	08	02	03	★	新所原笠子線道路改良事業	本路線を整備することにより、増加する交通量に対し歩行者の安全を図る。	歩行者の安全と利便性の向上のため、歩道の整備を行う。	道路予備設計・路線測量 1式	5,352	計画に対する整備率	%	1	1	2	A	A	A	A	A	A	歩行者の安全確保と利便性の向上を図るための事業であり、総合的に判断しても適切なものである。	継続
390	都市整備部	土木建設課	08	02	03	★	小名川12号線道路改良事業	本路線を整備することにより、警津駅周辺の幹線道路との連続性が確保され、病院利用者を含む歩行者の安全と利便性の向上を図る。	歩行者の安全と利便性の向上のため、歩道の整備を行う。	(H26繰越分) 工事 L=106m (H27現年分) 工事 L=167m 物件補償 N=2件(工作物)	39,172	計画に対する整備率	%	100	100	-	A	A	A	A	A	A	通勤通学、病院等の利用者の安全を確保するための事業であり、総合的に判断しても適切なものである。	完了
391	都市整備部	土木建設課	08	02	03	★	古見新居線道路改良事業	交通量が増加し危険な状態が円滑な交通の妨げになっている古見新居線と三ツ谷谷上線の交差点の改良を行い、安全かつ円滑な交通を確保する。	通勤等の利用者の円滑な交通及び安全を確保するための交差点改良を行う。	工事 L=249m	12,144	計画に対する整備率	%	100	100	-	A	B	B	A	A	A	通勤等の利用者の円滑な交通及び安全を確保するための事業であり、総合的に判断しても適切なものである。	完了
396	都市整備部	土木建設課	08	02	03	★	新所原駅嵩山線道路改良事業	本路線を整備することにより、歩道の連続性を構築することにより、利用者の安全と利便性の向上を図る。	自動車及び歩行者の増加に伴い、歩道の設置と交差点の改良事業を行う。	物件補償調査 N=2件	1,378	計画に対する整備率	%	26	26	-	A	A	A	A	A	A	本路線を整備することにより、歩道の連続性を構築し、利用者の安全と利便性の向上を図るものであり、総合的に判断しても適切なものである。事業進捗は地権者との合意ができず用地取得が遅れているものである。	継続
397	都市整備部	土木建設課	08	02	03		道路改良関係事務費	道路改良事業の円滑な事業執行のための事務的経費	道路改良事業に係る経費	国301号歩道整備に伴う建設員負担金の支払い等	-	事務的経費のため指標なし	-	-	-	-	A	A	A	A	A	A	道路事業に係る事務的経費であり、総合的に判断しても適切なものである。	継続
399	都市整備部	土木建設課	08	02	03	★	日の岡入出知波田線道路改良事業(弁財橋)	緊急輸送路になっている橋梁を耐震補強することにより、災害時の緊急輸送路の確保を行うとともに、橋梁の補修を行い長寿命化を図る。	災害時の緊急輸送路の確保と橋梁長寿命化を図るため耐震補強工事を行う。	橋梁予備設計(工法検討)	7,125	計画に対する整備率	%	7	7	-	A	A	A	A	A	A	災害時の緊急輸送路の確保と橋梁の長寿命化を図るものであり、総合的に判断しても適切なものである。	継続
401	都市整備部	土木建設課	08	02	03		大知波青平線道路改修事業(今川小橋)	橋脚の損傷により交通の危険性がある今川小橋を改修することにより、利用者の安全と生活環境の改善を図る。	橋梁耐震補強工事を行う。	(H26繰越分) 工事 橋脚塗装1式	-	計画に対する整備率	%	100	100	-	A	A	A	A	A	A	損傷の激しい橋脚の耐震補強工事であり、利用者の安全を確保するものであり、総合的に判断しても適切なものである。	完了